

# 第1号議案 2022年度事業報告

<会員数> 2022年度末 636名 (前年度末比 5名減少)  
(今年度中 26名入会、31名退会)

## I 会議等

- 1 総会
- ・第14回定時総会  
2022年 5月29日(日)「書面表決書」で決議する方式  
(書面表決書 383名)  
役員改選を含む5議案を承認可決。  
※ 記念講演 『ソーシャルワーカーに必要な TIC (トラウマインフ  
ォームドケア) の視点』  
講師 武庫川女子大学文学部心理・社会学科准教授  
大岡 由佳 氏

- 2 理事会(理事、監事、事務局長) オンライン形式
- |     |                |     |         |
|-----|----------------|-----|---------|
| 第1回 | 2022年 4月23日(土) | 16名 | (出席理事数) |
| 第2回 | 2022年 5月29日(土) | 19名 |         |
| 第3回 | 2022年 6月30日(土) | 16名 |         |
| 第4回 | 2022年 8月27日(土) | 16名 |         |
| 第5回 | 2022年10月22日(土) | 12名 |         |
| 第6回 | 2022年12月24日(土) | 17名 |         |
| 第7回 | 2023年 1月28日(土) | 13名 |         |
| 第8回 | 2023年 2月25日(土) | 15名 |         |
| 第9回 | 2023年 3月25日(土) | 17名 |         |

### 【支部代表者・理事合同会議】 オンライン形式 (理事は、原則として三役が参加)

- |     |                |       |
|-----|----------------|-------|
| 第1回 | 2022年 8月27日(土) | 8支部出席 |
| 第2回 | 2022年10月22日(土) | 7支部出席 |
| 第3回 | 2023年 2月15日(土) | 9支部出席 |
| 第4回 | 2023年 3月25日(土) | 9支部出席 |

- 3 三役会(会長、副会長、事務局長) オンライン形式
- |      |                |    |
|------|----------------|----|
| 第1回  | 2022年 4月18日(月) | 5名 |
| 第2回  | 2022年 5月28日(土) | 5名 |
| 第3回  | 2022年 6月10日(金) | 5名 |
| 第4回  | 2022年 7月27日(水) | 5名 |
| 第5回  | 2022年 8月16日(火) | 5名 |
| 第6回  | 2022年 9月 2日(金) | 5名 |
| 第7回  | 2022年10月13日(木) | 5名 |
| 第8回  | 2022年12月13日(火) | 5名 |
| 第9回  | 2023年 1月23日(月) | 5名 |
| 第10回 | 2023年 2月22日(水) | 5名 |
| 第11回 | 2023年 3月17日(月) | 4名 |

- 4 事務局会議
- |     |             |           |
|-----|-------------|-----------|
| 第1回 | 2022年10月22日 | 嶋垣会長、職員6名 |
| 第2回 | 2023年 3月24日 | 嶋垣会長、職員7名 |

- 5 『事務局からのお知らせ』の発行（6回）  
2022年 6月、7月、9月、11月 2023年 1月、3月
- 6 日本社会福祉士会関係会議  
2022年 9月 3日（土）会長会議（オンライン形式）  
2023年 3月 18日（土）臨時総会（オンライン形式）
- 7 新人オリエンテーション  
2022年9月22日に新規会員向け説明会（オリエンテーション）をオンライン形式で開催し、8名の方が参加。本会の組織・事業や生涯研修制度について説明し、参加者同士で交流の場をもちました。
- 8 ソーシャルワーカーデー  
2022年12月3日（土） オンライン形式にて開催  
テーマ「ソーシャルワーカーのちから～寄り添い、つなぎ、支えあう～」  
三重県社会福祉士会、三重県医療ソーシャルワーカー協会、三重県精神保健福祉士協会の3団体合同で主催し、会員に加えて学生や県外から約90名の参加がありました。

## II センター事業

### 1 地域生活定着支援センター（委託事業）

(1) コーディネート事業：35件（本センターで帰住調整：10件）

矯正施設にてご本人と面接を重ね、必要な調査を行い、当人の特性、ニーズ等を把握し、必要なサービス等を決めて地域との調整を図りました。

(2) フォローアップ：35件

矯正施設を退所し県内に帰住された方のほとんどについてフォローアップ。地域での生活を始めてからが本格的な支援となることが多い。

(3) 相談事業：8件

- ・昨年度からの継続：5件
- ・刑事事件訴追中の相談：1件
- ・帰住先や帰住後の福祉サービス調整、労役後等の相談：2件

### 2 生涯研修センター

#### □＜基礎研修委員会＞

講義は、eラーニング（日本社会福祉士会）を活用し、演習についてもオンラインで実施しました。

| 事業名         | 月 日                              | 会 場       | 参加者数等 |
|-------------|----------------------------------|-----------|-------|
| 基礎研修Ⅰ（2日間）  | 2022年 9月                         | eラーニング    | 22名   |
|             | 2023年 1月                         |           | 22名   |
| 基礎研修Ⅱ（10日間） | 2022年 5月～2023年2月<br>第3日曜日 午前（演習） | オンライン（演習） | 22名   |
| 基礎研修Ⅲ（10日間） | 2022年 5月～2023年2月<br>第3日曜日 午後（演習） | 各種レポート    | 12名   |
| 基礎研修運営委員会   | 毎月第1月曜                           | オンライン     | 運営委員  |

□＜スーパービジョン委員会＞

|             |                            |       |          |
|-------------|----------------------------|-------|----------|
| スーパービジョン説明会 | 2022年 5月21日<br>2023年 3月25日 | オンライン | 6名<br>6名 |
|-------------|----------------------------|-------|----------|

□＜実習指導者委員会＞

| 事業名  | 月 日  | 会 場   | 参加者人数 |
|--|--|-------|-------|
| 社会福祉士実習指導者講習会  | 2023年 2月 4日<br>2月 5日   | オンライン | 32名   |
| 実習指導者フォローアップ研修   | (講義・演習)<br>2023年3月4日   | オンライン | 15名   |
| 三重県内社会福祉士養成校連携会議(社会福祉士会実習指導者委員会、皇學館大学、鈴鹿医療科学大学、高田短期大学) | 2022年 5月12日<br>2022年 6月 9日<br>2022年 8月31日<br>2022年 9月27日<br>2022年10月26日<br>2022年11月24日 | オンライン | 4~8名  |
| 「うちにもできる!?新カリ実習」社会福祉士養成校教員と実習指導者のなんでもトーク               | 2022年 6月23日  |       | 18名   |
|  | 2023年 3月 4日  |       | 15名   |

□＜社会福祉士国試模擬試験＞

2022年10月 16日 3名参加

3 権利擁護センター ぱあとなあみえ

- (1) 家裁からの依頼件数 2022年度 … 124件 (前年度 113件)
- (2) 名簿登録者数 2022年度 … 124名 (前年度 129件)
- (3) 受任件数 2022年度 … 496件 (前年度 470件)
- (4) 権利擁護及び成年後見制度に関する委員や講師の派遣をしました。
- (5) 2022年度地域医療介護総合確保基金に係る事業を実施しました。(延べ13日)
- (6) 名簿登録更新の条件として各研修会等への1回以上の参加を促進しました。
- (7) 成年後見制度利用促進のため、オンラインにて各市町の聞き取り調査を実施しました。
- (8) 三士会(弁護士会・リーガルサポート・社会福祉士会)の会議に参加し連携強化しました。
- (9) 家庭裁判所主催で成年後見制度利用促進にかかる意見交換会に参加し情報交換しました。

| 事業名                      | 月 日  | 会 場                    | 参加者数等       |
|--------------------------|--|------------------------|-------------|
| ぱあとなあみえ運営委員会             | 第2土曜日(毎月開催)                                | 三重県社会福祉会館              | 運営委員<br>20名 |
| 成年後見継続研修<br>(2022年度基金事業) | 2022年 6月 11日<br>2023年 2月 11日               | 三重県社会福祉会館<br>(オンライン併用) | 46名<br>60名  |
| 成年後見人材育成研修               | 2022年 8月 8日<br>2022年 9月 2日<br>2022年 10月 7日 | 三重県社会福祉会館<br>(オンライン併用) | 11名         |

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
|  | 2022年11月4日   |   |  |
| 名簿登録研修   | 2022年12月17日  | 三重県社会福祉会館   | 32名                                    |
| 成年後見事例検討会<br>①～③<br>個別懇談会<br>④～⑥<br>(2022年度基金事業) | ① 2022年7月9日<br>② 2022年10月8日<br>③ 2023年3月18日<br>④ 2022年7月16日<br>⑤ 2022年11月12日<br>⑥ 2023年1月14日 | オンライン研修<br>オンライン研修<br>オンライン研修<br>四日市市文化会館<br>松阪公民館<br>尾崎罌堂記念館 | 38名<br>35名<br>49名<br>17名<br>21名<br>17名 |
| 活動報告チェック委員会                                      | 2022年9月17日<br>2023年3月11日   | 三重県社会福祉会館<br>三重県社会福祉会館  | 運営委員                                   |
| 後見申立支援研修<br>(2022年度基金事業)                         | ① 2022年11月16日<br>② 2022年12月19日   | 四日市市文化会館<br>三重県社会福祉会館   | 12名<br>27名                             |
| 親族後見人支援研修<br>(2022年度基金事業)                        | ① 2022年6月25日<br>② 2022年10月21日<br>③ 2023年1月20日  | いなば園<br>玉城わかば学園<br>三重県社会福祉会館                                  | 58名<br>43名<br>24名                      |
| 成年後見制度利用促進<br>市町聞き取り<br>(オンライン方式)                | 2022年<br>10月～12月   | 三重県下29市町<br>(実施)  | 運営委員                                   |

### Ⅲ 委員会等事業

#### ◎特別委員会

##### 《会員入会促進特別委員会》

この委員会は三重県内等の社会福祉士資格保持者に対して入会促進を図り、持続可能な組織体制づくりの方向性を検討するために、2021年10月から2022年12月までの設置期間で特別委員会として立ち上がりました。

#### (1) 会員の入会促進に関すること

##### 【都道府県社会福祉士会アンケートの実施（2022年9月）】

##### ・対学生について

学生は社会福祉士自体を理解できておらず、社会福祉士会は自分たちに何をしてくれる存在なのかという認識でいる。そのため、養成校とは意見交換会への参加、授業への講師派遣、研修会の案内など繋がりを継続し、学生に話題を提供し、学生・教員から現状の課題を抽出していく。

##### ・対社会人について

社会人から社会福祉士を取得する方は成年後見人を目指すなど、実務をする目標をもって勉強している人が多い。そのため、ソーシャルワーク実習（旧相談援助実習）や模擬試験、非会員対象の研修会での声かけや支部活動への参加など地道な活動を継続する。

#### (2) 会員の退会防止に関すること

### 【現状把握のためのアンケートの実施（2022年3月）】

会員へのアンケートを毎年、継続することで、会員の現状を把握し、小さな意見も吸い上げていく体制が必要である。また、退会届の退会理由についても毎年、精査し、会員全体あるいは支部も含めて情報共有を図る。

### (3) 30歳未満の会員活動の活性化に関すること

#### 【入会促進キャンペーンチラシの作成（2022年8月）】

新規加入した30歳以下会員の初年度会費の免除（2022年度～2024年度）について、入会促進キャンペーンチラシを活用する。3年間の入会状況を見て、継続あるいは年齢等の幅を広げていくなどの検討が必要ではないか。また、若い世代からの視点で会を活性化させていくために、30歳未満に限定せず、青年部の委員会を立ち上げるなど、若手会員が自由に活動できる場を提供することもあってもよい。

### (4) 広報に関すること

#### 【社会福祉士会リーフレットの作成（2022年12月）】

入会促進だけでなく、情報発信の方法も含めて戦略を持って取り組んでいくために広報に関わる委員会を設置し、上記（1）から（3）の役割も担っていく。ただし、委員の負担にならないためにLINEワークスの活用など、新たな広報ツールを活用する仕組み作りが必要である。また、ソーシャルワーカーデーの行事について、今年度に関しては理事が担っていたが、広報に関わる委員会が計画・実施するのが適任ではないか。

以上、4つの項目について検討を重ね、提言しました。また、『持続可能な体制づくりの方向性』として新たに取り組む委員会に次の項目を引き継ぐことになりました。

- ①大学生や一般社会人に対する入会アプローチ
- ②会員の退会防止対策
- ③30歳未満を中心とした若年層会員への活動アプローチ
- ④広報活動などの見直し

| 事業名   | 月 日         | 会 場           | 参加者数等 |
|-------|-------------|---------------|-------|
| 定例委員会 | 2022年 4月20日 | オンライン         | 8名    |
|       | 5月28日       | 三重県社会福祉士会 事務局 | 5名    |
|       | 7月19日       | オンライン         | 5名    |
|       | 8月31日       | オンライン         | 5名    |
|       | 10月 6日      | オンライン         | 7名    |
|       | 12月 6日      | オンライン         | 5名    |

## ◎常任委員会

### 1 <高齢者・障がい者虐待防止委員会>

- (1) 三重県高齢者・障がい者虐待防止チームに23名の会員を推薦しました。
- (2) 第三者委員として依頼のあった県内の高齢者及び障害者施設に対して、必要な助言等を行いました。
- (3) 三重県高齢者・障がい者虐待防止チーム（チーム）が契約している6市2町に対して、弁護士会と協力して必要な助言等を行いました。
- (4) 委員会内で立ち上げた虐待に関する研修プロジェクトチームにより開発した研修企画プロジェクト（カリキュラム）により、試行的に委員向け養成研修を行いました。

| 事業名                         | 月 日              | 会 場                   | 参加者数等 |
|-----------------------------|------------------|-----------------------|-------|
| 定例委員会（4回）                   | 2022年 6月21日      | オンライン                 | 12名   |
|                             | 8月 9日            | オンライン                 | 12名   |
|                             | 11月12日           | オンライン                 | 11名   |
|                             | 2023年 3月15日      | オンライン                 | 12名   |
| プロジェクトチーム会議<br>（2回）         | 2022年11月 2日      | オンライン                 | 7名    |
|                             | 2023年 2月20日      | オンライン                 | 6名    |
| 高齢者・障がい者虐待防止<br>委員会スキルアップ研修 | 2023年 3月4日<br>5日 | オンライン研修会              | 13名   |
| チーム会議（5回）                   | 2022年 4月 9日      | 三重弁護士会館<br>（オンライン参加有） | 13名   |
|                             | 6月18日            |                       | 10名   |
|                             | 7月30日            |                       | 14名   |
|                             | 11月12日           |                       | 12名   |
|                             | 2023年 2月18日      |                       | 11名   |

## 2 <司法と福祉の委員会>

- (1) 新たな委員を迎え、以後活躍していただくための資質向上を主な目的とし、委員会内での学習会に力を入れました。地域生活定着支援センター（6月5日）、三重ダルク（8月21日）、みえ犯罪被害者総合支援センター（10月20日）、津保護観察所（12月15日）に、それぞれの機関が果たす役割について学びました。
- (2) 司法との連携による社会福祉士の役割について会員の学びを深め、矯正施設退所者の支援について啓発を図るため、オンライン交流会を開催しました。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年3月から延期されていたリーガルソーシャルワーク認証研修は生涯研修センターや関係機関との調整が困難となり、中止となりました。

| 事業名       | 月 日         | 会 場                | 参加者数等                     |
|-----------|-------------|--------------------|---------------------------|
| 定例委員会（6回） | 2022年4月10日  | 三重県社会福祉会館<br>オンライン | 7名                        |
|           | 2022年6月5日   | 三重県社会福祉会館<br>オンライン | 9名                        |
|           | 2022年8月21日  | 三重ダルク<br>オンライン     | 8名（三重ダルク<br>2名）           |
|           | 2022年10月20日 | 三重ダルク<br>オンライン     | 6名（みえ犯罪被害者総合<br>支援センター2名） |
|           | 2022年12月15日 | オンライン              | 7名（津保護観察<br>所1名）          |
|           | 2023年1月22日  | オンライン              | 6名                        |

|                |           |       |               |
|----------------|-----------|-------|---------------|
| 司法と福祉のオンライン交流会 | 2023年3月5日 | オンライン | 13名（津保護観察所1名） |
|----------------|-----------|-------|---------------|

### 3 <子ども家庭委員会>

- (1) 2019年度に行った「ヤングケアラーに関するアンケート調査結果報告書」における残された課題についてのさらなる分析、検証のため、「ヤングケアラーアンケート（追加調査）」を実施しました。
- (2) 三重県におけるスクールソーシャルワーカーの現状を知ってもらい、「スクールソーシャルワーカーになりたい」という会員を増やすことを目的として、三重県教育委員会の協力のもとで第4回目となる「初めてのスクールソーシャルワーク研修」を集合研修にて開催しました。開催にあたっては、ソーシャルワーク専門職団体の他、教育・福祉にも広報を行いました。
- (3) 令和4年度三重県ヤングケアラー関係職員研修事業を鈴鹿医療科学大学准教授の土田先生を講師に招き、実施しました。ヤングケアラーやその家族と接する機会が多いと思われる関係機関・団体等の職員を対象に、ヤングケアラーに関する問題意識を喚起し、支援を適切に行うとともに、関係機関・団体等職員のヤングケアラーの概念や発見の着眼点、発見後のつなぎを含めるなど、ヤングケアラー支援について理解を深めることができました。

| 事業名                         | 月 日                            | 会 場                | 参加者数等   |
|-----------------------------|--------------------------------|--------------------|---------|
| ヤングケアラーアンケート（集計分析）          | 2022年12月<br>～2023年3月           |                    | 8名      |
| 初めてのスクールソーシャルワーク（集合研修）      | 2022年11月13日                    | 三重県社会福祉会館<br>集合研修会 | 30名     |
| 定例委員会                       | 2022年4月<br>～2023年3月<br>毎月第2土曜日 | オンラインと集合           | 10名～17名 |
| 三重県ヤングケアラー関係職員研修事業（三重県委託事業） | 2022年7月<br>～2023年3月<br>(12回開催) | 集合研修               | 10名～40名 |

### 4 <災害福祉委員会>

- (1) 定例委員会で、情報交換、課題の把握を行い、今後の活動についての協議を行うことができました。
- (2) 災害福祉研修会として、避難訓練報告会を2023年2月25日に開催し、1年をかけて取り組んできた「実践モデル研修」から明らかになった災害時要援護者とされる障害のある人たちの災害時における課題はもちろんのこと、私たち社会福祉士ができることについても共有することができました。研修を行うにあたり、東海四県及び北陸三県への呼びかけはできませんでした。

- (3) 県内で、重度の障害のある人たちに対して、重度訪問介護のサービスを提供し、障害のある人たちの地域生活を支援しているNPO法人ピアサポートみえをモデル事業所に選定し、協働して、地震による津波が発生したことを想定しての避難訓練等を実施し、災害発生時や被災後の支援における具体的な課題について把握することができました。
- (4) 各種関連研修会等に参加し、県内の他団体との連携を深めることができました。
- (5) 東海四県北陸三県交流会は、開催することができませんでした。

| 事業名                                       | 月 日   | 会 場   | 参加者数等  |
|---|---|---|--|
| 第1回災害福祉研修会<br>避難訓練報告会～命を守るために社会福祉士ができること～ | 2023年 2月25日   | オンライン研修   | 18名  |
| 福祉現場における実動訓練を通じた実践モデル研修                   | 2022年 7月 2日<br>2022年 8月20日<br>2022年10月15日<br>2022年11月19日  | NPO法人ピアサポート<br>みえ事務所および利用者<br>宅、津市市役所   | 6名<br>2名<br>4名<br>13名  |
| 定例委員会（11回）                                | 2022年 4月21日<br>2022年 5月19日<br>2022年 6月13日<br>2022年 7月13日<br>2022年 8月25日<br>2022年 9月22日<br>2022年10月24日<br>2022年11月10日<br>2022年12月13日<br>2023年 1月10日<br>2023年 3月10日 | オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン | 5名<br>6名<br>6名<br>5名<br>6名<br>7名<br>6名<br>4名<br>6名<br>7名<br>6名 |

#### 2022年度事業計画以外に実施したその他の事項

| 事業名                     | 月 日         | 会 場   | 参加者数等  |
|-------------------------|-------------|-------|--------|
| 第1回災害時における福祉支援ネットワーク協議会 | 2022年10月28日 | オンライン | 1名（会長） |
| 都道府県社会福祉士会<br>災害担当者会議   | 2023年 3月12日 | オンライン | 1名     |
| 第2回災害時における福祉支援ネットワーク協議会 | 2023年 3月13日 | オンライン | 1名     |

#### 5 <独立（自立）型社会福祉士支援委員会>

- (1) 名称が変わり、新体制になって、初めて企画した「夢を語ろう会」。



独立型社会福祉士と独立に関心のある社会福祉士が語り合う企画であるが、独立している社会福祉士への関心は大いにありと実感しました。

- (2) 名簿登録をされている独立型社会福祉士の要望がきっかけで、名簿登録要件に必要な更新研修を企画しました。研修案内を日本社会福祉士会のHPにも掲載したことで、他県からの参加者もありました。1部は公認心理士による研修、2部は独立型社会福祉士の実践報告会を開催しました。

| 事業名                           | 月 日   | 会 場                                       | 参加者数等                         |
|-------------------------------|---|---|-------------------------------|
| 「夢を語ろう会」                      | 2022年9月30日  | オンライン                                     | 9名<br>(非会員1名)<br>委員 4名        |
| 「支援する私たちの<br>くこころのケア」を学<br>ぶ」 | 2023年2月18日  | 三重県社会福祉会館とオ<br>ンライン                       | 10名<br>(非会員1名)<br>委員 4名       |
| 定例委員会                         | 2022年8月1日<br>2022年10月19日<br>2022年12月7日<br>2022年12月21日<br>2023年1月18日 | オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン<br>オンライン | 4名+会長<br>4名<br>3名<br>3名<br>3名 |

## 6 <生活・地域支援委員会>

- (1) 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていけるよう、さまざまな個人や地域の課題を、委員(13名)同士で情報を共有しながら考え、それぞれの現場での取り組みを学ぶ機会を持つことができました。
- (2) 委員の地域事情や、支援現場での実践事例や課題について現状を報告してもらい、検討会を模索しました。
- (3) 会員向け研修会の企画や、また職能団体としても相談機能についての検討は実施することができませんでした。

| 委員会 | 月 日        | 会 場   | 内 容  | 参加者数 |
|-----|------------|-------|--|------|
| 第1回 | 2022年4月5日  | オンライン | ・方向性の模索・方針の協議  | 10名  |
| 第2回 | 2022年8月17日 | オンライン | ・生活困窮の実情について   | 6名   |
| 第3回 | 2022年9月21日 | オンライン | ・生活困窮者支援の実情について<br>・救護施設の支援の実情について<br>・物価高騰の対象者の生活について | 6名   |

|     |             |       |  |    |
|-----|-------------|-------|--|----|
| 第4回 | 2022年11月16日 | オンライン | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉計画の住民参加について</li> <li>・施設の地域連携について</li> <li>・スクールソーシャルワーカーについて</li> </ul> | 8名 |
| 第5回 | 2023年3月15日  | オンライン | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間のまとめ、振り返りについて</li> </ul>  | 6名 |

## 7 <高齢者権利擁護支援委員会>

(1) 三重県からの委託事業である地域権利擁護支援研修事業について、2021年度までは地域包括支援センター委員会と高齢者・障がい者福祉委員会に分かれて活動していましたが、組織体制の見直しもあり2022年度からは地域権利擁護支援研修事業を実施する委員会として、新たに高齢者権利擁護支援委員会が立ち上がりました。事業として、市町職員、地域包括支援センター職員、介護サービス事業所職員の対象者毎の5つの研修を延べ9日間に渡り開催しました。開催方法は主にオンライン開催でしたが、コロナの感染状況を見極めつつ集合での開催も2日間行いました。

(2) 定例委員会は全7回オンライン形式で開催しました。基本は研修についての協議でしたが、委員同士の情報共有の場にもなりました。

| 事業名                  | 月 日         | 会 場       | 参加者数等             |
|----------------------|-------------|-----------|-------------------|
| 市町・包括管理職及び担当職員研修     | 2022年 7月14日 | オンライン     | 60名               |
| 介護施設等における権利擁護推進員養成研修 | 2022年 8月24日 | オンライン     | 23名               |
|                      | 9月22日       | オンライン     | 24名               |
|                      | 11月18日      | 三重県教育文化会館 | 24名<br>(修了証発行23名) |
| 高齢者虐待対応現任者専門研修       | 2022年 9月 6日 | オンライン     | 27名               |
|                      | 9月13日       | オンライン     | 21名               |
|                      | 9月20日       | オンライン     | 23名               |
| 高齢者虐待防止担当者交流会        | 2022年12月 1日 | 三重県教育文化会館 | 18名               |
| 権利擁護普及啓発研修           | 2023年 2月14日 | オンライン     | 153名              |
| 定例委員会（7回）            | 2022年 4月15日 | オンライン     | 8名                |
|                      | 6月 8日       | オンライン     | 7名                |
|                      | 7月27日       | オンライン     | 8名                |
|                      | 8月24日       | オンライン     | 7名+3名             |
|                      | 9月28日       | オンライン     | 8名                |
|                      | 12月15日      | オンライン     | 8名                |
|                      | 2023年 2月14日 | オンライン     | 8名                |